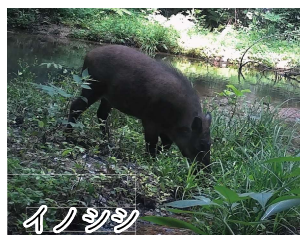
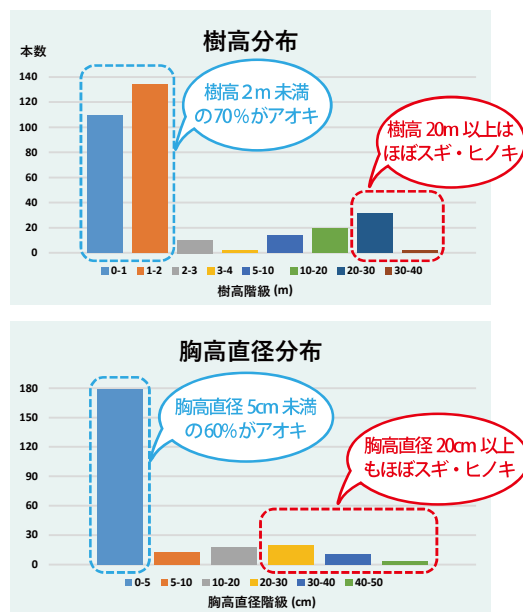
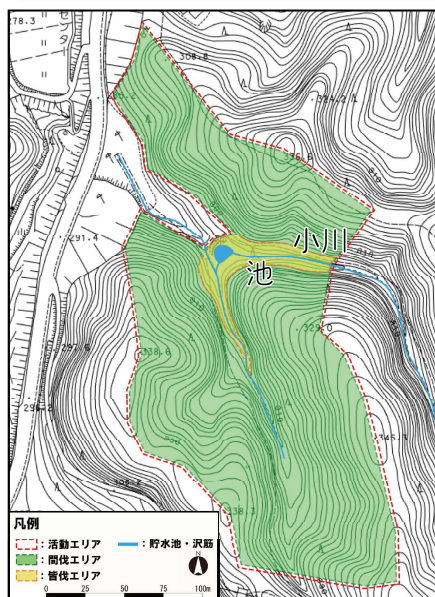


ニュージェックの森の林分構成

2025 年は代表地点（10m×10m×5 地点）で毎木調査をし、林分構成を記録しました。樹高 20m 以上、胸高直径 20cm 以上の大きな木のほとんどがスギとヒノキでした。オオムラサキの食草であるエノキも大きな木がありました。小さいサイズの多くは低木のアオキでしたが、アラカシ、シラカシ、ツブラジイといった樹林の次世代を担う高木の稚樹もみられました。森全体（3.8ha）の動植物調査では、ミヤコミズやコショウノキなどの重要種が確認されました。良いことばかりではなく、遂にシカが姿を現し、植生に対する食害が懸念されます。今はウサギの食痕の方が多く、これらの植生への大きな影響は受けていないですが、脅威とならないよう注視していきます。

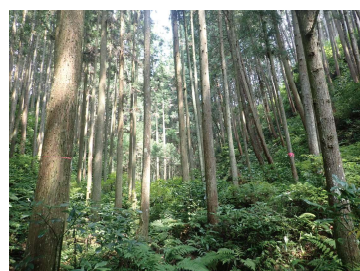


伐採作業が始まりました

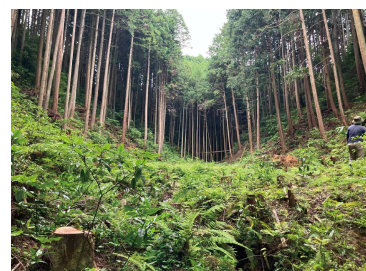


調査結果をもとに『広葉樹の育つ生物多様性の豊かな森』に転換するための整備計画を立て、第一弾として 2025 年 12 月に NJ の森の中心部にあたる平地のスギ（約 0.15ha）を伐採しました。林冠が開いて光が入り、明るい環境が生まれました。前述の稚樹の成長や周辺からの種子の供給により、時間はかかりますが樹林の形成は自然にゆだねて植樹は行わない予定です。

※伐採は活動にご協力頂いているクリエイション(株)に実施頂きました。



伐採完了！



今後の予定

2026 年は夏と秋に動植物調査を継続します。整備作業も引き続き行い、残りの低地の伐採を行う予定です。また、種子が定着し易い環境にしていくために、林床に残置された伐採木の清掃を行う予定です。作業参加者の募集も検討中ですので、その際はよろしくお願い致します。